

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年 10月 19日

【評価実施概要】

事業所番号	0173100314		
法人名	社会福祉法人じねん		
事業所名	グループホーム寿楽		
所在地	上川郡当麻町4条西2丁目1番10号 (電話) 0166-84-5546		
評価機関名	北海道社会福祉協議会		
所在地	札幌市中央区北2条西7丁目1番地		
訪問調査日	平成19年9月20日	評価確定日	平成19年10月19日

【情報提供票より】(19年9月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成16年2月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	19 人	常勤 6人, 非常勤 13人, 常勤換算 7.0人	

(2) 建物概要

建物構造	木造	
	1階建ての	1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	23,000 円	その他の経費(月額)	16,000 ~ 21,000 円
敷金	有(円) 無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) 無		有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 300 円
	夕食	300 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(9月20日現在)

利用者人数	18 名	男性 6 名	女性 12 名
要介護1	3	要介護2	1
要介護3	8	要介護4	6
要介護5	0	要支援2	0
年齢	平均 84.1 歳	最低 72 歳	最高 95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	あおぞらクリニック・当麻町立診療所・当麻歯科診療所 他
---------	-----------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は大雪の麓に位置し、澄み切った空気の田園地帯にしっかりと根を下ろしている。設立当時の「地域に密着した事業所を」という想いを根底にして「のびのび、にこにこ、暖かく。ゆっくり、いっしょに、楽しく。長寿喜楽、敬老奉仕。」という理念を掲げて職員は日々のケアサービスを実践している。今後も利用者と職員が共にゆったりとのびのびと生活することが期待できる事業所である。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での課題について全職員で話し合い、改善に取り組んでいる。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	施設長・職員ともに評価の意義を十分に理解しており、全職員で自己評価に取り組みまとめあげている。また、今回の外部評価時にも積極的に意見が出され、協力的であった。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	家族代表・行政職員・地域包括支援センター職員・民生委員・事業所職員を構成員とし、2ヶ月に1度運営推進会議を開催している。会議では事業所の運営状況の報告や情報交換をし、活発な意見交換を行い事業所の運営に活かしている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	来訪時に職員は家族に積極的な声かけをし、利用者の生活状況を報告して家族の意見・要望を聞いている。また、事業所行事に参加する家族が多く、その際にも意見・要望を聞き日々のケアサービスに反映させている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	事業所の行事に近隣住民も多数参加して利用者とともに楽しんでおり、地域との交流が図られている。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域に密着することを当然の事として踏まえた事業所独自の理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝のミーティング時に理念を唱和しており、職員間で共有している。また、日々のケアサービスにおいても理念を実践している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	納涼祭やクリスマス会などの事業所の行事に近隣住民が多数参加したり地域行事に利用者も一緒に参加するなど、地域との交流が図られている。また、事業所の畑での収穫や耕作、除雪などにも近隣住民の協力が得られており、地域と密に連携が取れている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	施設長・職員ともに評価の重要性や意義を理解しており、全職員で自己評価に取り組んでいる。また、作成している過程において課題や気付きについて即実践している。前回評価での課題についても意欲的に取り組み、改善している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>家族代表・行政職員・地域包括支援センター職員・民生委員・事業所職員を構成員として2ヶ月に1度運営推進会議を開催している。会議では事業所の運営状況・行事実態状況・研修等の報告がなされ、活発な意見交換を行い事業所の運営に活かしている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>開設当初から地域との連携が取れており、現在も継続している。また、年々地域からの事業所への理解を深めており、ともにサービスの質の向上に努めている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族の来訪時に利用者の暮らしぶりや健康状態を報告している。来訪できない家族には事業所便りや電話にて伝えている。また、2ヶ月に1度金銭出納についても家族に報告し、確認してもらっている。</p>	○	<p>今後、職員の異動や利用者の外出状況等についても詳しく家族に報告することが期待される。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>来訪時に職員は家族に積極的な声かけをし、意見・要望を聞いている。また、電話や運営推進会議においても意見を聞く機会を設けており、事業所の運営に活かしている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動は最小限に抑えるよう努めており、異動があった際は職員配置に考慮し利用者へのダメージを防ぐよう配慮している。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>運営者は人材育成の重要性を認識しており、年間計画を立て職員一人ひとりの知識や経験に応じた外部研修に参加する機会を設けており、職員は積極的に受講している。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>運営者は地域の会議に積極的に参加し、ネットワークづくりに努めている。また、他市町村主催の研修会に参加した際に情報収集を行い会議にて報告し、職員間の共有化を図っている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>事前に利用者本人・家族と面談し、また事業所を見学してからの入居としている。利用者がすぐに馴染めない場合は家族に頻繁に訪ねてもらったり宿泊してもらい、利用者が安心して過ごせるよう配慮している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>常に理念を心がけ、散歩・畑仕事・ドライブなど利用者の希望に応じた対応を行っている。また、介護の枠を越えて喜怒哀楽を共にし、利用者一人ひとりの尊厳を大切にケアサービスを実践している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>職員は利用者との会話や行動・家族からの情報を基に、一人ひとりの希望や意向を細部にわたり把握するよう努めている。また、センター方式を活用し、利用者の深い想いの把握に努めている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者・家族の意向を尊重し、毎日の個人記録を基に全職員でカンファレンスを行い、介護計画を作成している。また、家族に利用者の現在の状態を詳しく文書にして説明し、意見・要望を聞き計画に反映させている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>2週間ごとに経過記録をまとめ、3ヶ月ごとに介護計画の見直しを行っている。また、利用者の状態変化に応じて本人・家族と話し合い、医療機関とも相談しながら現状に即した介護計画を作成している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>利用者本人や家族の状況に応じて通院の付き添いを行っている。また、24時間受診可能な体制が整えられており、利用者や家族にとっての安心に繋がっている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人・家族が希望する医療機関への受診支援を行っている。受診後は結果を家族に報告し、内容を記録している。また、看護師が常勤しており、いつでも相談できる体制が整えられている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化や終末期に向けた方針について早期から本人・家族・医療機関を交えて話し合っており、共有が図られている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>個人情報を他言しない事は遵守事項として認識しており、職員は利用者のプライバシーを損ねることのない対応の徹底を図っている。また、個人情報が記載された書類についても保管場所が決められており、適切に対応されている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者の生活歴や体調を考慮し、その人らしい生活が送れるよう支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や後片付けなど利用者の力量に応じて職員と一緒にやっている。また、利用者の希望や季節の食材を採り入れた献立を組み、利用者と職員が同じ食卓で楽しみながら食事を摂っている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望に応じた入浴支援を行っており、健康状態に合わせてシャワー浴や足浴などの支援も行っている。また、畑作業後のシャワー浴も随時行われており、利用者が気持ちよく過ごせるような配慮がなされている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	調理や後片付けなどの得意なことを活かした支援や、生活歴を活かした役割・レクリエーションなどの楽しみごとなど、利用者が日々の暮らしに張り合いや喜びを見出せるよう努めている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩・買い物・ドライブなど、一人ひとりの希望に沿った外出支援を行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	全職員が鍵をかけない暮らしの大切さを認識しており、日中は施錠していない。利用者が外出しそうな様子には職員はさりげなく声をかけ、付き添うなど対応している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回消防署指導の下で避難訓練を実施したり救急救命訓練を行っており、災害時に備えている。また、地域の協力が得られており、商店に避難場所が確保されている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の水分量・食事摂取量を個別記録しており、職員は情報を共有している。一人ひとりの嗜好や健康状態を考慮し、栄養バランスにも配慮した献立が組まれている。また、献立は定期的に管理栄養士にカロリー計算してもらっている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は広々として明るく清潔感が漂っている。気になる匂いは全くなく、音や光も適宜調節されており、利用者は思い思いの場所で寛いでおり、居心地のよい空間となっている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には利用者が使い慣れた馴染みの家具・仏壇・装飾品などが持ち込まれており、居心地よく過ごせる工夫がなされている。		

 は、重点項目。